

独立行政法人国立美術館の平成30年度業務実績に関する評価結果を踏まえた運営業務の改善等への反映状況

中期計画項目	平成30年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘を踏まえた令和元年度の改善の状況
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 我が国の近・現代美術及び海外の美術を体系的・通史的に提示し得るナショナルコレクションの形成・継承</p> <p>(1) 作品の収集</p>	<p>所蔵作品の保管スペースの確保については、その財源及び整備手法等に関し、多様な視点を持って検討を進めることを期待したい。</p>	<p>収蔵品の保管・管理については、ほとんどの館において収納が限界に達している状況が続いており、外部倉庫の活用や収納棚の増設等により、収蔵環境の改善に努めた。</p> <p>また、万全な作品の保存環境の整備を行なうために法人として策定した「収蔵庫等保管施設の狭隘・老朽化対応に係る方針」に基づき、対応の検討を進めている。</p>